

安全安心・きれいな米づくりは健苗育成から!!

【種子更新】

- ・種子は全量種子検査を受けたものに更新する。
- ・種子の品質保証票は保管しておく。

昨夏の高温の影響で、種子が深い眠りに
ついています。
浸種作業の水温、浸種日数に気をつけて
下さい!!

【種子消毒】

薬剤名	濃度 (水200当たり)	浸漬時間
テクリードCフロアブル	200倍 (100ml)	24時間

- ・消毒液温は10℃以下にしない。
- ・種籾と消毒液の容量比は[1:1以上]の割合とする。
- ・消毒した種籾は、食用や飼料に用いない。
- ・種籾袋には余裕を持って種籾を入れ、攪拌し効果ムラをなくす。

(注)消毒後の残液は、河川や用水路へ流さないで下さい。
簡易廃液処理キット(イレートキット)をご使用下さい。

【浸種】 浸種の積算温度は120℃以上!

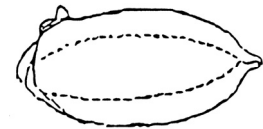
水温	浸種日数	注意事項
10℃	12日間	①初日の水温を10～15℃の適温に保つ。 ②2日に1回は水を入れ替え、籾の上下を入れ替える。 ③高温にしない(20℃以下)
15℃	8日間	

※もち類は浸種の積算温度を100℃で終了させる。

【催芽】

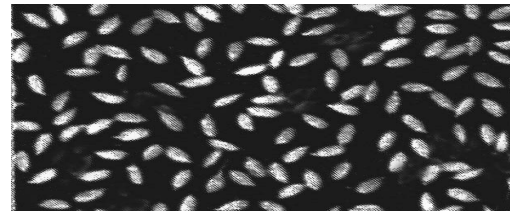
催芽適温	催芽程度	目安
30℃	1mm (ハト胸程度)	9割以上(発芽を揃える)

ハト胸程度
(播種に最適)



【播種】 薄播きでガッチリ苗づくり!

1箱当たりの播種量	
乾籾重量	120g / 箱
催芽籾重量 (目安)	150g / 箱



120g/箱の播種状態

- ・播種時の灌水は1箱あたり800～1000mlとし、箱の底まで床土が湿った状態とする。
- ・青カビ、白カビ、苗立枯病の予防として、播種時(800ml)から緑化期(500ml)にダコレート水和剤500～1000倍液を灌注処理する。

【出芽】 一斉に芽をそろえよう!

出芽の程度	出芽日数	温度管理
芽の長さが8～10mm程度	3～4日	30℃

水稻育苗ハウスを活用して野菜を栽培する場合は、育苗箱施薬剤を処理しない苗を用いて下さい。
また、田植前の施薬は育苗ハウス内で行わないで下さい。

コシヒカリの早播き、早植えは品質低下のもと。4月上旬に播種し、5月田植を実施しよう!

安全安心・きれいな米づくりを実践しよう!